



2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年6月13日

上場会社名 ウェルプレイド・ライゼスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9565 URL <https://wellplayed-rizest.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 谷田 優也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 村田 光至朗（TEL）03-6380-1020
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年10月期第2四半期の業績（2022年11月1日～2023年4月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	1,193	—	8	—	△3	—	△6	—
2022年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年10月期第2四半期	△2.54		—					
2022年10月期第2四半期	—		—					

（注）1. 当社は、2022年10月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年10月期第2四半期の数値及び2023年10月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

2. 2023年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	1,029	483	47.0
2022年10月期	1,051	274	26.1

（参考）自己資本 2023年10月期第2四半期 483百万円 2022年10月期 274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,708	32.1	251	18.9	249	9.2	165	14.0	61.58

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益は、2022年11月29日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行（200,000株）、ストックオプション行使分（16,665株）を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年10月期2Q	2,716,665株	2022年10月期	2,500,000株
2023年10月期2Q	—株	2022年10月期	—株
2023年10月期2Q	2,679,649株	2022年10月期2Q	2,500,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響は正常化に向かっている中、ゲーム・eスポーツを取り巻く環境は大きな変化を続けております。ゲーム観戦に熱狂する世界は日本でも浸透する一方、そこに関わる人々の生活様式を取り巻く環境の整備はまだまだ進化の余地があると考えております。このような状況に合わせ、当社は2023年5月23日に新たなビジョン・ミッションを発表いたしました。「ゲーム」が身近にある生活を送る人々の人生をより充実させるためのサービスを提供する企業を目指し、「We are the GAMING LIFESTYLE Company.」を新たなビジョン、「ゲームをきっかけに人と社会をHAPPYにする。」を新たなミッションとし、eスポーツ市場のみならず、周辺領域への事業拡大を目指してまいります。

eスポーツイベントの企画・運営によりクライアントに様々な価値を提供する「クライアントワークサービス」では、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が解除される中、オフラインでのイベント開催の需要が拡大しております。今後はオフラインとオンラインを組み合わせたハイブリッド型でのイベント開催が主流になると予想され、スポンサー・参加者（eスポーツ選手等）・視聴者の三者の視点から喜ばれるイベントをつくることを得意とする当社では、新たな需要に対し積極的な営業活動を行っております。eスポーツ選手・実況者・解説者・インフルエンサー等の「パートナー」のサポートを軸とした「パートナーソリューションサービス」では、企業からのタイアップやコラボレーション企画を数多く受注し、活躍の機会を提供することで、パートナーの価値向上に努めております。eスポーツの新たな価値を創造していくための新規事業をつくりあげる「ビジネスデザインサービス」では、「LIMITZ」の共同開催者である有名eスポーツチームのスポンサー協賛の獲得支援、「LIMITZ」の開催に向けて準備を進めております。

コスト面においては、売上の増加に伴い、配信制作や運営スタッフ等の売上原価が増加いたしました。また、販売費及び一般管理費は、人材採用を強化したことにより採用教育費・人件費等が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,193,154千円、営業利益は8,422千円となりました。また、第1四半期会計期間において上場に伴う一時費用が発生したことにより、経常損失は3,644千円、四半期純損失は6,794千円となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から21,661千円減少し、1,029,509千円となりました。これは主に、現金及び預金が前事業年度末に比べ264,960千円増加しているものの、受取手形及び売掛金が204,425千円、仕掛品が65,368千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末から231,480千円減少し、545,572千円となりました。これは主に、買掛金が76,446千円、未払法人税等が74,709千円、長期借入金金が44,847千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末から209,818千円増加し、483,937千円となりました。これは主に、公募増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ107,640千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ264,960千円増加し、477,319千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は115,910千円となりました。これは主に増加要因として売上債権の減少額204,425千円、棚卸資産の減少額65,368千円等があった一方で、減少要因として法人税等の支払額78,025千円、仕入債務の減少額76,446千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,286千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12,586千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は162,337千円となりました。これは主に増加要因として株式の発行による収入215,280千円があった一方で、減少要因として長期借入金の返済による支出43,023千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の業績予想につきましては、2022年12月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	212,358	477,319
受取手形及び売掛金	460,992	256,566
商品及び製品	3	3
仕掛品	74,906	9,537
その他	24,233	19,357
貸倒引当金	△2,446	△2,446
流動資産合計	770,046	760,337
固定資産		
有形固定資産	40,403	45,064
無形固定資産		
のれん	168,515	158,302
ソフトウェア	13,190	11,525
無形固定資産合計	181,705	169,827
投資その他の資産		
その他	59,834	55,099
貸倒引当金	△818	△818
投資その他の資産合計	59,015	54,280
固定資産合計	281,125	269,172
資産合計	1,051,171	1,029,509

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,865	112,419
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	47,895	49,720
未払法人税等	78,023	3,313
その他	132,264	94,962
流動負債合計	547,048	360,415
固定負債		
長期借入金	230,005	185,157
固定負債合計	230,005	185,157
負債合計	777,053	545,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,500	146,806
資本剰余金	37,500	145,806
利益剰余金	198,118	191,323
株主資本合計	274,118	483,937
純資産合計	274,118	483,937
負債純資産合計	1,051,171	1,029,509

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	1,193,154
売上原価	932,601
売上総利益	260,553
販売費及び一般管理費	252,130
営業利益	8,422
営業外収益	
保険解約返戻金	32
受取利息	1
その他	2
営業外収益合計	36
営業外費用	
上場関連費用	11,252
支払利息	694
為替差損	157
営業外費用合計	12,104
経常損失(△)	△3,644
税引前四半期純損失(△)	△3,644
法人税、住民税及び事業税	266
法人税等調整額	2,883
法人税等合計	3,149
四半期純損失(△)	△6,794

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△3,644
減価償却費	10,590
のれん償却額	10,213
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	694
上場関連費用	11,252
売上債権の増減額 (△は増加)	204,425
棚卸資産の増減額 (△は増加)	65,368
仕入債務の増減額 (△は減少)	△76,446
未払金の増減額 (△は減少)	△16,652
未払費用の増減額 (△は減少)	2,499
前受金の増減額 (△は減少)	△53,903
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,436
その他	22,690
小計	194,522
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△588
法人税等の支払額	△78,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,586
無形固定資産の取得による支出	△700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△43,023
株式の発行による収入	215,280
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,333
上場関連費用の支出	△11,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,337
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	264,960
現金及び現金同等物の期首残高	212,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	477,319

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

1 株主資本の著しい変動

当社は、2022年11月30日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年11月29日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行200,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ107,640千円増加しております。その他、新株予約権の行使による増加を含め、当第2四半期会計期間末において、資本金は146,806千円、資本剰余金は145,806千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

当社はeスポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。